

2. 滝根町の農業

(1) 農業の大切なわけ

食べることは人間が生きていくうえでもっとも大切なことです。

そのために人々はいつも、食べものを得るため工夫してきました。

大昔の人々は野山で木の実や動物などを採集・狩猟する生活がながくつづきました。このような生活も、やがて本格的な米作りが行われるようになり、土地を耕し、食べ物を生産するようになると生活も変わりました。その結果、米などを作ることに適した土地には、人々があつまり、ムラが形づくられるようになりました。しだいに米がわたしたちの食べものの主食となりました。

わたしたちの生活を支えるものは農業です。人々はより多くの収穫を願って、それぞれの地域に適した米や、さまざまな作物をつくるようになりました。

農業は大地を耕し、小さな種や苗を育てることにより、米、野菜、豆などをつくり出す仕事です。

また、家畜は牧草などを食べ、牛乳などを生産します。

このように農業は、自然の恵みを利用し、わたしたちの生活にとって、もっとも大切な食べものを生産するとともに、耕地や山林を守る大せつな産業なのです。

今、日本では米があまっていますが、世界中ではまだまだ食べもの

コンバインによる稲の収穫

